

JAちば東葛 広報誌8月号

No.185

大地の声

2025 August

8

JA CHIBATOUKATSU



今年も野田地区で有人ヘリによる玄米黒酢の散布を行いました

ホームページアドレス▶<http://www.ja-chibatoukatu.or.jp/>

JAちば東葛 Q&A

6月の総代会実施にあたり

組合員の皆さまを対象にアンケートを実施いたしました。

(実施期間 6月14日～6月20日)

今回、お寄せいただきましたご質問・ご要望をもとに

Q&A方式でお答えいたします。

Q 出資配当金を年2%以上出せる様、運営内容を改善して下さい。

A 現在役職員一丸となって業務改善に向けて全力で取り組んでいるところでございます。組合員の皆さまに少しでも多く出資配当金が出せるよう努力してまいります。

Q 人事異動に関して、適材適所という考えはわかるが、パワハラ的な人事と思われる事案があるとの事。異動に関しての本人の希望等も聞いてもらえない。退職者が多い原因の一つでは？(信頼・信用が第一であり、業務内容によっては充分な配慮が必要と要望)

A 人事異動につきましては、組織運営上、適材適所を基本としておりますが、職員の動向や職場環境にも十分配慮する必要性があると認識

しております。現在も総務部による面談時に本人の希望や意見を聞き、全体のバランス等総合的な判断の上、配置しております。今後より丁寧に職員とコミュニケーションを取り、職員が安心して働ける環境づくりに努めてまいります。

Q 総代会の開催地について、西船地区で開催されたことがない。開催場所の条件もあると思うが、ぜひ考えてもらいたいとの要望。

A 各地区の総代数や会場までの距離的バランス、また会場設営等事前準備を鑑みて暫くの間柏市で総代会を開催してまいりました。西船地区で開催していないことは大変心苦しいことと承知はしておりますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q 総代会資料の紙の質が良すぎる。普通の紙質で良い。総代会の記念品も必要ない。今は、物が余っている状態。

A 総代会資料の紙質につきましては、内容の重要性や見やすさ、またお手元に長く残していただきたいこと等を考慮しております。また環境面を考慮して古紙を使用しております。

総代会の記念品につきましては、組合員の皆さまに感謝の気持ちを伝えるためであり、より一層絆を深める一助と考えております。今後も組合員の皆さまの声を反映し、適切な形を検討してまいります。

Q 風早支店の統廃合による職員の人員配置はどのような方針に基づき実施されるのか、お示しいただきたい。

A 統廃合による職員の配置につきましては、地域の特性や業務の効率化、サービスの質向上を目的に計画をしており、今後の展望を踏まえ、丁寧に検討してまいります。

Q 金利に関して、住宅ローンを利用している方より、ここにきて金利の上昇があるが、正組

合員ならではの、特典・便宜をしてもらえると有難いとの要望。

A 住宅ローンについては公共性の高い商品のため、正組合員・准組合員とも同様の条件にてご案内させていただいております。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q 御中元について、そうめん以外の品物に変えて下さい。(例そば等にして下さい。毎年同じ品物にしない方が良いかと思えます)

A 貴重なご意見有難うございます。

そうめんについて多くの方から好評をいただいておりますが、今後検討してまいります。

Q 「組合員との対話運動」とあるが、大変良いことなので期待を置いていて、聞きたいことなどケートに記入等したことがない。今後も、組合員と職員との対話を多くもち、農業人は今、何が 필요한のか、何を望んでいるのか等を把握し、経営につなげてほしい。今は、特に「米」について知りたいことがたくさんある。私も少しではあるが米をつくっている一人なので。

A 組合員の皆さまとの対話やご意見の把握は、当組合にとって大変重要と考えております。より多くの組合員の皆さまと直接お話しし、ご意見やご要望を伺う機会を増やしていくことが重要だと考えております。今後は、アンケートの実施や対話の場のご案内など、情報発信や機会創出に努めてまいります。

米の価格や販売先、また、栽培技術や新しい品種の情報、補助金や支援制度について、今後の米政策の動向など、「米」に関する情報を発信してまいります。いただきましたご意見は今後の組合運営や経営方針の参考とさせていただきます。

Q 統廃合について、総会に添付という形で知

らされた支店の廃止、ふいうちをくらったような進め方に組合員不在の姿がみえる。半年以上待った説明会、その後の約束された2回目の説明会については実施されず、ついには支店の廃止。組合員不在の姿がまたみえる(とうかつ中央では2~3年かけて進めて行きたい)このような経緯を理事会の議事録にて確認したい。全組合への開示をお願いしたい。

A 説明会につきましては、各地区で行われた1回目の説明会でいただいたご意見を再度検討し、A・T・Mの継続運営など修正を行ったところですが、時間を要してしまい、総代会前までございましたので、急きよ文書にてご案内をさせていただきます。その後、説明会の開催へ至らなかった事につきましては、お詫び申し上げます。今後は、アンケートの実施や対話の場のご案内など、情報発信や機会創出に努め、組合員不在という形にならないよう努めてまいります。

理事会の議事録につきましては、農業協同組合法第35条において、組合員は理事会議事録の閲覧または謄写を請求することができます。当組合の各支店に備え付けてありますので、最寄りの支店にお問い合わせてください。

Q 管内農業の現況で、柏地区が1ヘクタール当たりの当組合販売取扱いが畑耕地面積で野菜品目が他の地区に比べてダントツで高いので、柏地区のやり方を他の地区に展開してはどうなのでしょう。

A 当組合販売取扱高は、当組合を通じて販売を行っている系統出荷での販売高となります。また、西船地区については農林業センサス等で耕作面積の確定が出来なかった為市内全域の耕作面積を記載しており、一概に単位面積での販売高として比較が難しいところでございます。しかしながら、各地区の優良な栽培事例・

方式などT・A・C担当者会議等で各地区間の情報交換など行っておりますので、今後情報提供が出来るように努めてまいります。

Q 農業者の高齢化により働き手の減少が進んでいる。前年度の事業実績に、農家と農家で働きたい人を繋いできた。マッチングしてきたとあるが、どういう事例があったのか。具体的な実践事例を教えてください。

第5次の最重要課題であり、今後も最も大切な取り組みと考えるので、できる範囲内で良いので教えてほしい。又、この取り組みをしている農協の窓口を教えてください。私も第5次計画が出て以来、紹介をお願いしているがいまだに何の返答もない。

A 事例としては、当組合職員が福祉事業所を積極的に回り、農家と障がい者とのマッチングを行いました(受託)。農家は繁忙期に必要な人手を確保することで作業効率の向上、福祉事業所は働き場所の確保や就労訓練に繋げることが出来ました。

その他、無料職業紹介として農家と農家で働きたい人のマッチングを行い、人手の確保をいたしました。

尚、各事業の窓口は各経済センターとなります。

Q (1)第6次経営計画9ページ農福関連事業とはどのような内容か？

(2)イートインスペースとは、どのような事業・店舗運営か？

(3)SNSなどを活用した情報発信の実績と計画とはどのような内容か？又、管内農産物(ネギ・小カブ・ホウレン草・小松菜・枝豆など)を地域ブランド産品としてパック詰めして、ダンボール箱に入れて、ちば東葛ふるさと産品として、発信し販売することは、出来ない

でしょうか？(ふるさと納税などにも活用出来ないか。)

A (1)農福連携事業とは障がい者が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みであります。農福連携に取り組むことで障がい者の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、農業者にとっても担い手不足の解消や高齢化が進む中で労働力の確保につながる事業となります。

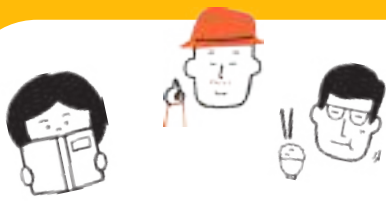
(2)当組合の事業でのイートインスペースとは、管内で採れた生乳を使用したジェラートなどを飲食するスペースとなります。農産物直売所「ふなっし畑」アンテナショップの店内に設置しております。

(3)SNSでは、当組合の商品や生産者の活動を写真や動画で紹介し、多くの人に情報を届けております。昨年度は、Instagramで地域の農産物やイベントを紹介し、多くのお問い合わせをいただいております。

また、管内の農産物(ネギ・小カブ・ホウレン草・小松菜・枝豆など)のパック詰めを「J・A ちば東葛ふるさと産品」としてブランド化し、販売やPRに活用できるよう検討してまいります。行政等とも連携し、ふるさと納税として販売促進も検討してまいります。

Q 経済センターの開店時間が9:00~16:00と聞いているが、せめて、8:30~17:00に改めることを提案します。

A 現在の営業時間については組合員の皆さまのご利用時間や職員の勤務体制を総合的に勘案し、最も効果的に運営できる時間帯として設定しております。限られた人員体制の中でサービスの質を保つためにも現行の営業時間内での対応が最も適切であると判断しております。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



食育活動報告



【JA ちば東葛西船橋枝豆研究会】

JA ちば東葛西船橋枝豆研究会の中島佐幸さん、田中裕之さん、鎌倉優希さんは7月1日、船橋市立金杉小学校を訪れ枝豆の食育授業を行いました。

3学年と特別支援学級の児童計51名を対象に、地域の農業や枝豆の栽培について、収穫した野菜がどのように食卓に届くのかといった授業を行ったあと、茎から莢をもぎ取る作業を実際に体験してもらいました。児童からは「どれくらいの量が採れるの?」「枝豆はなぜ毛が付いてるの?」などといった子ども目線の様々な質問がありました。

同研究会では、市内の子ども達に地域の農業やそこで作られる野菜について理解を深めてもらうことを目的に、毎年枝豆の食育授業を行っています。

今年は同校のほか、6月24日に船橋市立葛飾小学校、7月16日に船橋市立塚田小学校で実施しました。児童たちがもぎ取った枝豆は、それぞれ学校給食で提供されました。



【まめいち農園（瀬能一則さん）】

野田市船形の瀬能一則さんは、子ども達に食べること・育てることの大切さを知って欲しいと、4月～7月にかけて野田市立尾崎小学校3学年の児童を対象に枝豆の栽培授業を行いました。

4月14日に作業に向けた準備として栽培から収穫までの授業を行い、中旬には瀬能さんが管理するほ場で播種、その後草刈りなどの管理を経て7月7日に収穫を行いました。児童たちはしっかりと根を張った枝豆に苦戦しながらも、大きく育った枝豆を収穫しました。

瀬能さんが食育に関する授業を行うのは今年で5年目になりますが、今年は初の試みとしてメーカーや市の学校教育課・農政課との連携で実現しました。

瀬能さんは「食べることの大切さを肌で感じ、農業に興味を持ってもらえたと思う。今後も続けられる限り地域農業の発展と地域貢献に繋がりたい」と話しました。



【野田市】

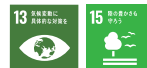
野田市自然経済推進部農政課は6月17日、野田市立福田第二小学校でお米に関する授業を行いました。

この日は5学年の児童12名を対象に、同課の田村課長補佐と恩田さんが「お米の栽培」や「野田市で取り組む玄米黒酢農法について」「黒酢米がどれくらいの規模で栽培されているか」など、玄米黒酢を試飲したり、散布用のドローンを見せたりしながら説明をしました。

黒酢米は市内すべての給食で提供されており、児童も興味津々。「どんな土で育てているの?」「どれくらい知られているの?」など幅広い質問がされました。



異常気象に向けた対策を—JA ちば東葛西船地区青壮年部



皆さんしっかりと確認しました

近年の気温上昇による作物への対策を改めて考えるため、JA ちば東葛西船地区青壮年部は7月1日に高温対策事業講習会を開き、10名が参加しました。

この講習会は、高温対策に取り組む事業者に向けた千葉県の補助事業「ちばの園芸高温対策緊急支援事業」をより多くの部員に周知し、活用することで更なる安定生産・出荷に繋げることを目的に実施しました。

東葛飾農業事務所の職員を招いて、対象となる品目や地区、機械や装置の種類などの説明を受け、来年度の申込に向けて必要事項の確認をしました。

スポーツで親睦を深めました—JA ちば東葛西船地区青壮年部



当JAとJAいちかわの若手生産者同士の親睦を深めるため、JA ちば東葛西船地区青壮年部とJAいちかわ船橋地区青壮年部は7月8日、行田運動広場でソフトボール大会を開催しました。

当JA青壮年部19名とJAいちかわ船橋地区青壮年部との混合チーム、JAいちかわ市川地区青壮年部チームの合計5チームで試合を行いました。

皆さん暑い日差しに負けないほどの白熱した戦いを繰り広げながら、健闘を称え合いました。



ナイスプレー！

出荷本番 梨の季節到来

【柏市果樹組合】

今年の梨の生育状況や収穫量の予想などを目的に、柏市果樹組合は6月30日、作況調査を行いました。

26名の生産者、東葛飾農業事務所の指導員などが参加して、高柳支部の渡来果樹園、藤ヶ谷支部の浜田果樹園、泉・箕輪支部の飯田梨園のほ場を巡回しました。

飯田康夫組合長は「本格的な出荷まで約1ヶ月となり、各支部順調な生育状況を確認することができました。販売・出荷に向けて栽培管理を今後も徹底しましょう」と話しました。



それぞれ確認する生産者

【JA ちば東葛栄農会果樹部会】



出荷目前の7月25日、JA ちば東葛栄農会果樹組合は東部支店会議室で幸水の査定会を



果実の規格を確認

行いました。

生産者15名のほか、市場関係者、東葛飾農業事務所が参加し、果樹全般の傾向や他産地の状況の報告を受けた後、出荷時の留意点などを共有しました。その後の現物査定では、規格や色味、食味を確認しながら出荷に際する意識の統一を図りました。

古川和弘組合長は「1年の成果が実になる時を迎えた。皆でしっかり規格を統一して出荷していきましょう」と話しました。

夏にピッタリ!お酢を使った料理教室—JAちば東葛野田地区女性部



美味しくできました♪

JAちば東葛野田地区女性部は6月17日、野田地区多目的ホール調理室で野田地区女性部短期大学第2回を開催し、25名が参加しました。

今回は大興産業(株)の中山さんを講師に迎え、エコープの「五倍酢」と「ほめられ黒酢」を使った料理4品「小松菜とじゃこの混ぜ寿司」「なすときゅうりの旨和え」「トマトと卵のサンラータン風」「長芋と鶏むね肉のみそ照り焼き」に挑



戦!旬の夏野菜を使い暑さを吹き飛ばすようなさっぱりとした料理を作りながら、「夏バテ予防に良いね!」「レパートリーが増えて嬉しい」「簡単に出来るね」など会話を弾ませました。

食欲が落ちやすくなる夏を乗り越えるため、皆さん手軽に美味しい献立を学びました。

旬の味覚を楽しむ—JAちば東葛柏地区女性部



JAちば東葛柏地区女性部は6月17日、部員間の交流を目的に親睦旅行を開催し、新加入3名を含む21名が参加しました。

晴天に恵まれたこの日、皆さんが向かったのは風光明媚な場所で果物が有名な山梨県。笛吹市で60年以上続くワイナリーの地下貯蔵庫見学やワインの試飲、特産品などの魅力が詰まった県内最大級の売り場面積を誇る里の駅を訪れたあと、甲州市でさくらんぼ狩り(紅秀峰・佐藤錦)を楽しみました。

予定時間を大幅に過ぎてしまうハプニングがありながらも、「山梨ならではの」の体験に皆さん会話も弾む旅となりました。



好みの柄で完成—JAちば東葛西船地区女性部



可愛い仕上がり♪

JAちば東葛西船地区女性部は6月17日、西船地区多目的ホールで女性大学講座を開校し9名が参加しました。

第1回となる今回は、金子しのぶ部長が講師となり「手ぬぐいで作るさっとカブリーナ」作りを行いました。好きな柄の手拭いを持ち寄った参加者は2班に分かれ、テキストを見ながらそれぞれのペースで縫い



進め完成させました。名前の通りさっと簡単に被ることができてズレにくいカブリーナは、日常の家事から外での作業まで汎用性も高く好きな素材や柄で作ることができるので、皆さんどんな場面を使うか想像しながら仕上げました。

水稻病虫害防除の時期を迎えました



今年も管内各地区で病虫害防除が行われました。

野田地区で行った玄米黒酢の散布には、生産者の皆さんとともに令和7年度入組の職員も早朝からの作業に従事しました。

皆さんの管理のもと、今年も安全に実施できました。



令和7年産 米取扱方策

令和7年産米の収穫も間近となりましたので、取扱方策についてご紹介します。

【取扱方策】

- 米の価格 集荷状況等を勘案して、窓口に掲示します。
- フレコン検査 面積拡大や労働力軽減を図るためフレコン検査を行います。
検査するフレコン全てが品質と水分が均一であることとします。
量目 1,020KG (皆掛重量 1,030KG) ※端数の出荷は行いません。
- 飼料用米 等級区分は「合格」と「規格外」の2区分となります。
交付金数量支払の対象は「合格」のみとなります。
規格外は飼料用米として出荷されますが、交付金の対象とはなりません。

【収穫・調整等の注意点】

- ① 収穫後の生粳はできるだけ早く乾燥機に張り込み「通風または乾燥」しましょう。
※外気温が高いほど生粳は変質（ヤケ米）しやすいので注意
- ② 異品種混入防止の徹底：品種切替時はコンバイン、乾燥機等の掃除を徹底してください。
- ③ 紙袋の汚れ（機械などの油ジミ、虫害、ネズミ害による汚損）のないようにご注意ください。
※特に持越し在庫を使用の際には、使用前に必ず状態確認を行ってください。

**「千葉米ブランド力」の向上、維持を図るためには年間を通じての安定供給が必要です。
良品質で安全・安心なお米の生産と出荷契約数量の全量出荷にご協力をお願いいたします。**

宮農情報

【安全に農作業を!!】

柏地区経済センター



佐々木 彬



近年、30℃を越える危険な暑さが続いています。熱中症が多く起きる時期でもあるので、熱中症対策を講じ安全に作業に取り組みましょう!!

熱中症の症状

以下の症状が熱中症の代表的な症状です。

これらの症状以外でも「暑い環境での体調不良」はすべて熱中症の可能性あります。

- (1)めまい・吐き気
- (2)頭痛
- (3)手足のしびれ
- (4)汗が大量に出る
汗が出なくなる



- (5)身体・頭が熱い
- (6)まっすぐ歩けない
- (7)筋肉のこむら返り
- (8)意識障害

≪JA全農ちば宮農情報集2025年7月より抜粋≫

熱中症対策

- (1)のどが渴いたと感じる前に水分補給をしましょう。塩分も取るとより効果的です。
- (2)20～30分おきに休憩を取りましょう。日陰で休憩をとるなど涼しい環境が良いです。
- (3)複数人で作業を行いましょう。
お互いが見える範囲で作業し何か起きた時の為に連絡手段を備えておきましょう。
- (4)無理のない範囲での作業にしましょう。あと少しで終わるからと少し無理をするととても危険です。少しでも無理のない範囲で作業に取り組みましょう。
- (5)ハウス等の熱がたまりやすい空間では換気などを徹底し、長時間の作業を行わないように心がけましょう。
- (6)空調服などを着用し、体温が上昇しないように努めましょう。



熱中症の応急処置

- 水分補給をさせましょう。経口補水液も有効です。
- 衣服を緩め、日陰の涼しい場所に寝かせましょう。
- 体温が高くなっているので、氷水を首筋、わきの下、足の付け根に当てたり、水をかけたり、扇風機等で強い風を送るなどして、なるべく早く体温を下げるようにしましょう。
- 重度の症状だと思われた場合、速やかに119番通報などをして医療機関での適切な処置をしてもらいましょう。(自力で水が飲めない場合、意識が無い場合は重度の症状です)
- 熱中症になってしまったら、症状の重さにかかわらず、安静に休息をとりましょう。